



謹賀新春

新年のごあいさつ

白老町町内会連合会 会長 桑田 正博



新年、明けましておめでとうございます。昨年、3年間にわたるコロナ禍も少し落ち着き、各町内会も徐々に活動を再開してきたように感じられました。また町長選挙・議会議員選挙と白老町のリーダーの交代により令和6年は飛躍の年になるように期待しております。町内会連合会は、99の単位町内会が各地域を大切にしながらも互いに協力し合い、住んで良かった白老を目指して日々活動しております。白老町の高齢化率は、令和5年10月末では約47%となっております。各町内会においては役員となり手不足、各行事への参加者の減少、子どもを中心とした行事などそのものの減少など多くの課題を抱えながら運営に尽力していると思います。また以前と比較すると町内会加入率も減少しております。このような状況を乗り越えて町内会の役割が地域に住む人たちにとって頼りになる存在になりたいと切に願っております。

町内会連合会は三つの理念を掲げて活動しています。「地縁で結ばれた私たちはみんな仲間」「一人ひとりにできる住民力で私たちの住環境の向上を」「住んで良かったと心から思える町内会をみんなの手で」。少子高齢化が進んでいく上で福祉の分野でも、災害防止の分野でもお互いの理解と協力、そして相手を敬う心をもって、居心地の良い町内会づくりを進めていきたいと願っております。

本年も皆さまがご健勝で各々の夢が叶えられますように心よりお祈り申し上げます。

町連合だより

【町内会基本調査】町内会長の一言から

- パソコンを使える人がいないので困っている。
- 行政はもっと町民の中に入って我々の声を聴いてほしい。
- 回覧物が多いので読まない人もいる、工夫をしてほしい。
- 役員の後継者がなかなか見つからなく困っている。
- 生活スタイルが多様化している、新たなコミュニケーションの姿を検討したい。
- 高齢者が多いので日常的に話しかけなどを心掛けている。

第3回町連合理事会

各町内会で長年役員として活躍された方々を表彰するための選挙を行いました。また2月に予定されている実践交流会について意見を聞きました。今回は書面理事会の形式で行いました。

白老町町内会連合会から皆さまへ贈る生活のスローガン



『まずは挨拶から始めよう』

お互いに心を込めた挨拶はまわりを明るくします